

ふたりのコラム

October 30, 2020

認定こども園あかみ幼稚園	園長	中田幸子
認定こども園メイプルキッズ	施設長	新井利枝

《3・4・5歳児》

運動会へのご理解、ご協力ありがとうございました

先日の運動会まで、そして当日、子どもたちはたっぷり楽しむことができました。その後も、リベンジ戦を行ったり、園外保育に出かけたりと運動会からさらに活動が広がっています。

さて、web 懇談会でもお伝えしましたが、子どもたちは楽しいから運動会の活動を行い、結果的に保育者が願っているところに向かっていくのです。幼児期は、体験を通して、楽しい、頑張った、やってみたらできた…などを感じながら、（無自覚でありながらも）主体的な学びを深めていきます（もちろんそこには、自分で取り組んでみたり試したりできる、環境・時間の確保が重要です）。

このような学びの積み重ねが、小学校以降の自覚的学びへつながると同時に、それが生涯学習の基礎になっていきます。わが子が、嬉しそうに、時には悔しい思いをしながら、何かに向かってたり、ワクワクしながら取り組んだりすることが、生涯を楽しく生きる術の基礎を学んでいると思うと、子どもの動き一つ一つが大切なものだと感じられますね。



11月9日（月）～13日（金）は おまつり Week

例年7月に行っている夏まつりに代り、「おまつり week」が行われます。子どもはもちろん、保護者の皆様にご協力いただきながら、楽しい時間を共に感じてほしいと願っています。みんなが集まって…ではありませんが、“まつり”ということを真ん中に、子どもは神輿や山車を作ったり担いだり、すみれ音頭を踊ったりして《まつりを楽しむ》。保護者の皆様は、クラスごとに商品の袋詰めや、飾りつけなどを通して、子どもたちの笑顔を想像しながら、《まつりを楽しむ》。そのような共有の仕方も、あるのですね…。後日、実行委員会からの詳しいお知らせが出ますが、抽選会では、例年に増しての本数を予定しているそうです。そちらも、またまた楽しみ！！

限られた環境の中で、できること…これは決して後ろ向きではなく、この環境下だから考えられたことや、新たな発見もたくさんあると思います。まつりは、保護者会と、園の共催事業です。大人も子どももワクワクしながら楽しい時間を共有しましょう！！

そして、そのように新たな発想をし、できることを考え、実行していく大人の姿は、新しい時代（※Society5.0）を生きていく子どもたちに大きな影響を与えるでしょう。

「Society5.0」の時代※、政府は、情報共有がしやすくなり、さらに住みやすい世界を目指しているそうです。これからは、膨大な情報量の中で、問題に向かって考え、解決していく力がさらに求められると思います。そのような時代を生き抜く子どもたちのためにも、私たち大人が前に進むための問題解決をする姿勢を示したいものです。

※経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）

狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されました。

<内閣府 HP> https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html



栃木県産のお米をいただこう



JA全農栃木さんより、栃木県産の3銘柄（とちほのか・なすひかり・とちぎの星）を県連合会を通じていただきました。食育の一環として、未来を担う地元の子どもたちに食べてほしいということだそうです。せっかくの頂き物を有効に生かしたいと考え、薪とかまどで炊き、もり組中心に食べ比べをしました。これを機会に、お米には色々な種類があるんだ…と気付いたり、地産地消の大切さなどに関心を持ったりすることができたらよいと思います。

小さい学年の子どもたちも、食に関心を持つきっかけとなってほしいと願っています。

ちなみに、もり組の子どもたちは「もちもちしていておいしい」「こっちが甘い」など感じたことを言葉で伝えていました。ご飯だけを味わってみるのは、なかなかないことですね。改めて、食を大切に“いただく”ことの有難さを感じました。

《食に関すること》ちょっと考えてみませんか

地産地消…土地のものをいただくことを推奨したい

食の安全…なるべく添加物の少ないものや有機栽培のものを食べることを心掛けたい

フードマイレージ…なるべく地産地消を心掛けたい

食品ロス…食べきれない量をとりわけ、残食を減らしたい。廃棄食品を減らしたい。

食料自給率…日本の食料自給率は低いですね。自分たちの食べるものは、様々な観点から国内で賄えるようにしたいものです。

このように、大人も食を取り巻く様々な問題に目を向けてみませんか。前項と同様、大人の姿勢は子どもたちに影響を与えるでしょう。

（文責：中田）



《0・1・2 歳児》

園庭の木々も色づき始め、秋の深まりを感じるようになりましたね。メイプルキッズの子どもたちも、園庭を元気に走り回ったり、ピオトープに探検に行ったり、日々楽しく過ごしています。園庭の落ち葉を見つけてうれしそうに保育者に見せに來たり、ハナミズキの赤い実を一生懸命集めたり・・・遊びの中で秋を感じているようです。季節を感じる心を大切にする保育をしたいと思う今日この頃です。

さて、メイプルキッズでは、2日間に渡って、ミニミニ運動会ごっこを子どもたちと保育者とで行いました。

密になるのを避け、20日に2歳児クラス、21日に0・1歳児クラスが、大人数にならないよう時間差を付けて活動を楽しみました。

普段子どもたちが楽しんでいるものを取り入れ、今の時期の発達にあう、体をたっぷり使った活動を考えました。

どの子どもも本当に楽しそうで、見ているこちらもうキウキウしてしまいました。そして、小さい子の動きは本当にかわいいんです！！

ちょっとその様子を写真でお知らせしたいと思います。



＜0歳＞ 子どもたちの好きな絵本「だるまさん」に合わせて体を振ったり、マットの山を歩いたりハイハイしたり・・・保育者に見守られながら楽しんでいました。

＜1歳＞ 子ども達の好きな♪きらきらぼし♪に合わせて踊ったり、トンネルをくぐって、星を集めたり・・・星に負けないくらい、子ども達もキラキラしてました！



＜2歳＞ 頭の上でお皿を作ってかっぱ体操！網をくぐって、山を越えて虫取りに行くよ！

運動会ごっこの次の日・・・

2歳の女の子が、登園後私を見るなり「昨日、楽しかったね～、またやろう！」と声をかけてきました。

私も「楽しかったね、また虫取りよーいどんしようね」と返すとニコニコの笑顔で頷きました。その後「おみやげ、ありがとね」と一言。

そういえば運動会の後、私が子ども達におみやげを見せて、「帰りにみんなに渡すからね」と話をしました。

この子にとっては、私がおみやげをくれた人になっているのでしょうか。そして運動会が楽しくて、おみやげもうれしかったのでしょうか！

自分の気持ちを素直に言葉にできるのって、当たり前のようだけど、実はなかなか難しかったりもしますよね。嬉しい、楽しいと感じたり、他者への感謝を素直に伝えたり・・・、これからも感受性豊かなまま育って行って欲しいな～と思った出来事でした。

「ありがとう」と言えるのと同じように、あいさつとも言えると気持ちがいいものですよね。あいさつとは、目の前にいる人の存在を認め、コミュニケーションのきっかけを作る行為であるとともに、話をしなくても「あなたを気にかけているよ」と意思表示することもできます。あいさつがきっかけで話が弾んだり、自然と仲直りができたり・・・そんな経験もあることと思います。

私が毎朝、職員室からメイプルキッズの保育室へ、年中・年少組の保育室前テラスを歩いていく際に、子ども達に「おはよう」と声を掛けあいさつしています。「おはよう」と元気に返す子、なかには恥ずかしそうに笑顔を見せる子、様々ですが、年少組のRちゃんは、私が「おはよう」と声を掛けると、「おはようございます」と深々と頭をさげてあいさつしてくれました。私が「Rちゃん、きちんとあいさつできて、すごいね。おはようございます」と私もお辞儀をしてもう一度あいさつすると、Rちゃんもうれしそうにしていました。

こんなちょっとしたあいさつのやりとりでしたが、一日が気持ちよくスタートできた気がしました。それからというもの、Rちゃんは毎朝私を見つけると「おはようございます」とあいさつをしてくれるようになりました。近くにいる子も真似して、みんなで元気にあいさつをしてくれます。そして、しばらくしたある日のお昼時、Rちゃんにテラスで会うと、「おはようございます」とあいさつをしてくれました。まだ「おはよう」と「こんにちは」の使い分けが難しい時期でもあるため、私が「Rちゃん、こんにちは」と返すとRちゃんも「こんにちは」とお辞儀をしてくれました。

その後、Rちゃんは、園内で私を見つけるとニコニコしながら近寄ってきて「こんにちは」とあいさつしてくれるようになりました。きっとRちゃんもあいさつを交わす嬉しさを感じているんだろうなと思うと共に、あいさつの使い分けも少しずつ分かってきたのかなと成長を感じています。そしてテラスでRちゃんに会うのをちょっぴり心待ちにしている、今日この頃です。



(文責：新井)